

# こいた 小板まきばの里通信 Vol 13.2

～よく似たスミレの名前を当ててみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■キャンプ場周辺で春の植物を探索しよう！



コバノ  
ミツバツツジ



ウグイス  
カグラ



タチツボスミレ・  
オオタチツボスミレ



ショウジョウ  
バカマ



ヤマザクラ



アセビ



カキドオシ



ムラサキ  
サギゴケ



ミヤマ  
カタバミ



ニョイスミレ



タネツケ  
バナ



スイセン  
(フオンシオン)



タンポポ

## ■里山の自然観察 ～よく似たスミレの名前を当ててみよう～

4月半ば、ヤマザクラが咲き始めて山のあちらこちらがほんのりとピンクに染まり出します。少し前に歌の練習を始めたウグイスも、少しづつウグイスらしく鳴けるようになってきました。木々も早く紅葉する木から次々に若葉を出して、里山は一気に春らしさが増していきます。地面のあちらこちらにはいつのまにか小さな野草の花畑が出来ています。黄色いタンポポ、白いタネツケバナ、紫色のカキドオシやムラサキサギゴケなど。他にも薄紫のタチツボスミレやオオタチツボスミレ、白いニョイスミレなどのスミレの仲間もたくさん咲いています。タチツボスミレとオオタチツボスミレは花の大きさがちがうものの葉っぱの形も花の色もよく似ていて見分けるのが難しいのですが、花びらの後ろに突き出している距(キョ)と呼ばれる部分の色で区別することが出来ます。距の色が薄紫色なのがタチツボスミレ、白色なのがオオタチツボスミレです。スミレの距の色をくらべて、スミレの名前を当ててみましょう。